

ふるさとの心

その13 田原坂



激戦の昔を語りかけるような楠の大木



責任という言葉の重み

赤池 恵子

三月に高校を卒業し、この豊田市にやって来て半年余りになりました。私は今、トヨタ自動車工業株式会社に勤めています。

私の職場は、人事部採用課で車には全く縁のないところですが、会社にとって最も必要不可欠な人の採用という仕事であるだけに、とても忙しい職場です。採用課の仕事は、常に回りの人とのつながりを持っていきますので、少しでも仕事が遅れたり、ミスをしたりしますと、他人の迷惑になるだけでなく、会社の信用を落とすことにもなりかねません。最初のうちは、なかなか思うように仕事が進まず、自分を情けなく思ったことも何度かありました。

私がこの会社に入社して、最初に感じたのは責任という言葉の重みでした。何をやるにしても責任を持って最後までやりとげるということは一番大切なことではないかと思えます。入社して半年余りにもかかわらず会社生活にも慣れてきましたが、まだまだ半人前で仕事に対してルーズな面もあります。でも、よき先輩がいろいろとアドバイスなどして下さいますので、早く一人前になろうと一生懸命頑張っています。

豊田市は、名古屋から約一時間の所にあり、まさに車の町です。でも、回りには美しい自然があり、とても環境のよい所です。私は今寮生活をしています。部屋には、六畳間が三間あって六人が一諸に生活しています。その中には必ず部屋先輩が二名おられて、いろいろな悩みや相談にものって下さいます。

休日には、友達とショッピングに行ったりテレビを見たり、また時には、おいしい料理を作ったりして楽しく過ごしております。

昭和四十九年三月多良木高等学校卒

勤務先 トヨタ自動車工業株式会社 人事部採用課